

在家小ネット利用ルール

川口市立在家小学校長 熊谷 壽
川口市立在家小学校 PTA 会長 宇佐見昌彦
川口市立在家小学校運営委員会児童
学校運営協議会委員長 伊藤 正樹

1 はじめに

「在家小ネット利用ルール」の取組にたくさんの児童、保護者、地域の方にご意見、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。以下に児童、保護者、地域、学校がそれぞれの立場でできることをまとめました。今年度は運営委員会の児童が運営し、話し合いを進めてきました。保護者の皆様におかれましては、以下のルールを基にして各家庭の生活スタイルに合わせてお子様と約束を決めてください。また、すでにゲーム・スマホを持っている家庭はこの機会に改めて見直し、これから持たせる家庭は、買い与える前の参考にしてください。

2 在家小ネット利用ルール

立場	キーワード	具体的な約束
児童	①時間 ②保護者との約束 (やりとりの内容) ③みんなでなくそうNBI (なかまはずれ 暴言 いじめ) ④相談	①スマホ・ゲームを利用できるのは、 基本平日は午後9時まで（1時間以内） 休日も午後9時まで（2時間以内）とする。 ②家庭の約束を守り、週に1回見せ、また、保護者に見せてほしいと言われたときに、保護者にスマホの内容を見せることにする。 ③相手が嫌な気持ちになることや自分がされて嫌なことをしない。 ④困ったとき、嫌な思いをした時は保護者（相談できる大人）に相談をする。
保護者	①会話、関わり、働きかけ ②確認 ③責任	①日常的にコミュニケーションをとり、子供の変化に目を配ると共に、スマホ・ゲームのルールやマナーについて話し合う。 ②フィルタリングをかけ、こまめにスマホ・ゲームの利用状況を確認する。 ③トラブルの際は積極的に事実を確認し、責任をもって解決にあたる。
地域	①情報収集 ②見守り・情報提供	①学校からの情報を回覧する。不確かな情報はうわさしない。 ②子供たちの様子を見守り、積極的に声をかけ、あいさつをする。些細なことでも学校、保護者に伝える。
学校	①啓発 ②協力 ②指導	①定期的に保護者や地域に分かりやすく啓発する。 ②トラブルの際は、学年児童全体に説明をし、保護者に協力を求める。 ③ネットモラル（個人情報、誹謗中傷、犯罪）について児童に指導する。

3 効果的な取組

①ゲーム「Nintendo みまもり Switch」アプリを使う

「Nintendo みまもり Switch」はNintendo Switchで遊んでいる状況を簡単に見守ることができる無料アプリです。曜日ごとに1日に遊ぶ時間を設定できます。設定した時間を超えるとNintendo Switchにお知らせを表示させたり、ソフトを中断させたりすることもできます。



②スマホ「Android ファミリーリンク」(アプリ)「iphone スクリーンタイム」(機能)を使う

オンラインで学習やゲームをしたり、検索したりする際に、利用についてルールを設定できます。また、利用時間の制限、位置情報の確認、リモートでロックをかけることもできます。(他にも同様のアプリがあります。)



4 ルールを守るために

①だれもが午後9時ぎりぎりまでやってよいというわけではありません。小学生の発達の段階においては、心身の健やかな成長を考え、十分な睡眠時間を確保し、早く寝るべきです。(しらさぎカードで提示している就寝時間は、低学年…午後8時半、中学年…午後9時、高学年…午後9時半としています。)就寝する直前までスマホやゲームをしていると、明るい画面が頭の中に残り、睡眠の質が低下します。大切なことは、子供たちの健全育成です。就寝する1時間前には、ゲームやスマホを「やらない、やらせない」ようにしましょう。

②ある家庭は、家族と話し合った約束で午後9時以降も使ってよいことになっていても、他の家庭は、午後9時までという約束を守っているかもしれません。相手のことも考えて、友達とのやり取りは遅くとも午後9時までとし、自分の家庭のルールを大切にしてください。また、早朝ならよいというわけではありません。思いやりの気持ちを持ち、自分の都合で相手に迷惑をかけることはやめましょう。相手から返事を求めたりすることもやめましょう。

5 その他の意見について

①「学期の終わりに子供たちにスマホやタブレットについて、気になることや心配な事がなかったかをアンケートで聞くなどすれば、早めにトラブルを把握できるのではないのでしょうか。」

→各学級に「あんしんカード」があり、児童が困ったことはそのプリントに書いて、担任に知らせることができます。また、学期に1回「生活アンケート」を行い、児童から聞き取りを行い、早期発見、解決に取り組んでいます。

②子供たちの将来の夢は、野球選手やプロゲーマーなど様々です。野球や習い事の時間は制限されないのに、ゲームの時間は制限されています。夢に向かって、熱中するなら時間などの制限はしなくてもよいのではないのでしょうか。

→制限する理由は、健康を害することがあるからです。「WHO(世界保健機関)はゲームの過剰な利用で日常生活が困難になる「ゲーム依存」(正式な病名はゲーム障害またはゲーム行動症)を依存症のひとつとして認定しました。また脳科学の研究から、ゲームに依存した人の脳では薬物依存と同様の脳の機能変化が起きているという事実も明らかになってきています。」(NHK HP)より